

令和 8 年度 第 1 回

小金井市市民協働推進委員会

令和 8 年 7 月 9 日 (木)
午後 6 時 3 0 分から
第二庁舎 8 0 1 会議室

次 第

- 1 依頼状の交付
- 2 自己紹介
- 3 委員長・副委員長の選出
- 4 委員会運営について
- 5 令和 7 年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について
- 6 令和 7 年度及び令和 8 年度実施協働事業提案制度の進捗について
- 7 令和 9 年度実施協働事業提案制度の募集について
- 8 その他

小金井市市民協働推進委員会委員名簿

	氏 名	区 分
1	石黒 めぐみ	公募による市民
2	森田 眞希	特定非営利活動法人関係者
3	田中 敬文	学識経験者
4	邦永 洋子	公募による市民
5	森 純一	ボランティア団体関係者
6	深澤 亘	市に勤務する職員

小金井市市民協働推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 小金井市（以下「市」という。）における市民協働の更なる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 協働施策の推進に関すること。
- (2) 協働事業提案制度に関すること。
- (3) その他協働に関すること。

(組織)

第3条 推進委員会の委員（以下「推進委員」という。）は、6人以内とし、次の者をもって充てる。

- (1) 公募による市民 2人以内
- (2) 学識経験者 1人以内
- (3) 特定非営利活動法人関係者 1人以内
- (4) ボランティア団体関係者 1人以内
- (5) 市職員 1人以内

2 推進委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

3 市長は、推進委員に欠員が生じた場合は、補欠委員に協力を依頼し、又は任命することができる。この場合において、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前3項に定めるもののほか、推進委員の選考に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(運営)

第4条 推進委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選する。

3 委員長は、会務を総理し、推進委員会を代表する。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 推進委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 推進委員会の会議は、推進委員の半数以上の者の出席がなければ開くことができ

ない。

- 3 委員長は、推進委員会の会議に必要があると認めるときは、推進委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴取することができる。

(会議の公開)

第6条 推進委員会の会議は、公開とする。ただし、公開することが推進委員会の運営に支障があると認められるときは、推進委員会に諮って非公開とすることができる。

(謝礼)

第7条 推進委員には、予算の範囲内で謝礼を支払うものとする。

(庶務)

第8条 推進委員会に関する庶務は、市民部コミュニティ文化課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

付 則

この要綱は、平成28年1月7日から施行する。

小金井市市民協働推進委員会について

1 委員会について

(1) 委員会の所掌事項

次に掲げる事項について協議する。

- ア 協働施策の推進に関すること。
- イ 協働事業提案制度に関すること。
- ウ その他協働に関すること。

(2) 委員会の会議録

- ア 小金井市市民協働推進委員会（以下「委員会」という。）における会議録の作成は、市民参加条例施行規則第5条の規定により、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の作成方法のうち、全文記録とする。
- イ 発言者名を正確に把握するため、委員会での発言は委員長が指名後、名前を発言してから行う。
- ウ 会議録については、委員に内容を確認後、ホームページに掲載し、公開する。

(3) 委員会の公開

委員会は、小金井市市民参加条例第6条の規定により、原則として公開する。なお、協働事業提案制度の選考等に関わる内容については、非公開とする。

2 スケジュールについて

(1) 第1回

令和8年7月9日（火） 午後6時30分から

内容：第1回次第のとおり

(2) 第2回

令和8年12月頃を予定

内容：令和9年度協働事業の第1次審査について

(3) 第3回

令和9年1月31日（日） 午後

内容：令和9年度協働事業第2次審査（公開プレゼンテーション含む）

(4) 第4回

開催時期等未定

市民協働推進委員会

意見・提案シート

◆市民協働推進委員会の検討内容について御意見・御提案がありましたら、以下に御記入の上、コミュニティ文化課へ御提出ください。次回開催の１週間前に届いたものは、会議で資料として配布します。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

提出日 年 月 日
氏 名

(送付先)

小金井市市民部コミュニティ文化課

〒184-8504 小金井市本町6-6-3

連絡先：042-387-9923

FAX : 0 4 2 - 3 8 8 - 1 3 2 3

E-mail : s030299@koganei-shi.jp

※原文のまま配布しますので、氏名についても公開の対象となります。

※無記名の場合は参考資料として委員に配布します。

小金井市市民協働支援センター準備室 作成資料

令和 7 年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I 小金井市市民協働支援センター準備室(以下「準備室」という。)は、小金井市社会福祉協議会が市から委託を受けている。

準備室には、2名の市民協働推進員を配置し、主に次のような業務を行なっている。

- 1 市民協働・市民活動についての相談
- 2 市民活動団体等と行政の間や市民活動団体相互間の協働のコーディネート
- 3 市民活動・市民協働についての情報の収集
- 4 市民活動・市民協働についての情報の発信
- 5 市民協働の推進方法等について市と協働し推進
- 6 市民活動団体等リストの管理
- 7 その他（行政への協力等）

II 開所日時

月・火・水・木・金曜日、午前 8 時 30 分～午後 5 時（午後 0 時～1 時を除く）

* 祝・休日、年末年始を除く。

開所場所：小金井市本町 5-36-17（小金井市社会福祉協議会）

III 活動の内容

1 相談・コーディネート業務

総件数 491 件の相談受け、必要に応じて市の担当者と折衝するなど相談の趣旨に沿って対応した。

(1) 連絡手段

窓口	電話	FAX	mail	合計(延)
128	168	0	195	491

(2) 案件に含まれる内容（重複記入あり）

資金面支援	運営面支援	行政との連携	その他	合計(延)
78	248	20	63	409

2 主な相談・コーディネート案件状況 実数 197 件

依頼者	支援依頼内容及び経過・結果
市民	外国籍の方、日本語を使つてのボランティアや団体に入つてお手伝いをしたい。紹介して欲しい
学校	授業の一環として、地域の活動団体について知りたいとのことなので、団体リストを紹介した。
学校	不登校の子どもの居場所等を子どもに紹介したい。子ども支援団体を紹介し、検索サイトについても伝えた。
NP0 法人	困りごとのある子どもたちへの学習支援のお手伝いについて、支援団体への仲介をし、最終的には児童養護施設へ繋いだ
市民団体	毛糸などの寄付について、活用してくれる団体への仲介依頼
NP0 法人	運営資金の助成金について相談。数か所紹介し、そのうちの1 か所から無事助成をいただき、事業実施となった。
個人	福祉作業所の設立相談、一般社団と NP0 法人についての相談。東京都生活文化スポーツ局へ繋いだ。
法人	知的、自閉症の方々のボランティア体験受け入れについての相談、紹介先団体とは連携できず見送りとなった。
NP0 法人	車の助成に伴う、駐車場探しについて。自治会、地元企業、大学への仲介など。
地元商店	飲食店からの子ども食堂などへの寄付について
市民団体	外国籍の方のママの居場所、助成金相談
市民団体	新たな活動場所について
団体	子どもの居場所マップについての掲示先の相談
団体	活動場所提供、活動先紹介など、福祉施設との連携
市民	不登校の居場所、子どもの学習支援の団体を知りたい
行政	学習困難な子どもの親からの相談を受けたので、団体へ仲介して欲しい、市民団体を紹介した。
市民	新規団体のイベント開催
市民団体	車いすイベント実施についての相談と地域団体への仲介
団体	高齢者の居場所と認知症についてのぴあサロンなど紹介
団体	講演会の保育と団体仲介
市民	地域食堂の立ち上げと自治会連携について、仲介
企業	市民団体への取材、紹介
NP0 法人	新たな活動拠点について、地元企業へ紹介

3 情報の収集

	市民活動団体への 訪問活動	先進都市への協働状況の調 査	資料収集
件数	6	1	83

4 情報の発信

(1) 小金井ボランティア・市民活動センター広報紙「ぼらんていあこがねい」の毎月号に、「市民協働応援ニュース」を設け、市民協働に関連する話題や準備室の活動状況等を掲載。

(2) ブログに市民協働に関する話題や準備室の活動状況等を掲載。

掲載月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	21	17	19	30	18	26	21	15	20	25	19	15	246
アクセス数	126	146	194	132	202	171	209	203	171	296	286	317	2,453

(3) 福祉こがねいに団体リスト PR 掲載 1 件

(4) その他、イベント等に参加した際、チラシを配布するなどして準備室の利用を呼びかけ
3 件

5 市民協働推進

(1) コミュニティ文化課とのミーティング 46 件

(2) 各種会合・行事等への参加・協力 10 件

6 市民活動団体リストの管理 2 件

7 行政への協力 11 件

8 講習会、研修 2 件

9 その他の活動 57 件



小金井市協働事業 やさいじんと学ぶ! 小金井わくわく農業プロジェクト

みなみあかり WOS BURGER

畑の防災活用 ケンタロードの畑で防災

地震や大雨など、もしもの時に「畑」は食べものを育てるだけではなく、地域のみんなが集まり助け合う場所になります。「みなみあかり WOS BURGER プロジェクト」では、ジャガイモづくりや畑あそびを通して「自分たちでできる防災」を楽しく学びます。

土にふれ、体を動かし、地域の人とつながることは、災害時の安心にもつながります。子どもたちが「生きる力」を育み、大人も地域のつながりを深めながら、未来の小金井の防災をみんなで考えるプロジェクトです。

農家

高橋 健太郎
やさいじん「ケンタロード」



都市農地は、食料を生産する場としてだけでなく、防災・環境保全・景観形成・地域交流など、多面的な価値を持っています。特に災害時には、食料の確保や避難空間として地域を支える重要な役割を果たします。しかし、その力を有事の際に十分に発揮するためには、平時からの備えと地とのつながりが欠かせません。

日頃から畑を通じて人と人が関わり合い、共に作業し、経験を積み重ねることで、顔の見える関係や助け合いの土台が育まれます。そうした積み重ねは、災害時の支え合いや迅速な協力につながり、地域の防災力を高めることにも、未来への安心を創出していくと考えます。

みなみあかり WOS BURGER プロジェクトメンバー



高橋健太郎（ケンタロード）・春光園（しだりカーパーズ）・NPO法人地域の寄り合い所
また明日・さんご商店・FC東京・買井南児童館・小金井買井南郵便局・Act・M・買井南地域のみなさん・やさいじん製作委員会・小金井市（経済課・地域安全課）

チラシ制作チーム

イラスト：Hanuka・Mei・あおい・さくさく・つむバルド・とら・ふーせん・よつ・りりか
ロゴデザイン：つむバルド・さくさく／マップデザイン：M／デザイン：作江翼（さんご商店）
構成：坂井治（そのへん工作室）



「やさいじん」は、
地域の農業と人々をつなぐ新しいかたち。

小金井市を中心に、地域に根ざして農業に取り組む農家さんをモデルにした「トレーディングカード」を通じて、農の魅力をもっと身近に、もっと楽しく伝えたいという思いから立ち上げたこのプロジェクト。子どもたちの笑顔、地域への誇り、食べることにへの関心、持続可能な農業——一枚一枚に、そんなたくさんの願いがあります。「やさいじん」が、あなたと農のあたたかな出会いになりますように。

やさいじん ホームページ

<https://yasaijin.jp/>



小金井市協働事業 やさいじんと学ぶ! 小金井わくわく農業プロジェクト



畑の防災活用



みなみあかり うおすばーガー



ケンタロードの畑で防災

小金井市協働事業提案制度 「DOKI DOKI こがねい 妄想 ヒストリー」

2年目の事業内容・ スケジュールについて



2026年5月22日

一般社団法人kiki について



国立の教員養成大学である
東京学芸大学発のベンチャーです。

- 2024年6月に設立
- 前身は東京学芸大Explayground木育研究所
- メンバーは東京学芸大学で出会った同期3人



教員免許
技術・工業



教員免許
農業



教員免許
美術・工芸

- 武蔵小金井駅から徒歩3分の地下に活動拠点
出合いを大切にできる場所「きっかけ家」を
運営

出合いを大切にできる場所

きっかけ家

「DOKI DOKI 妄想 こがねいヒストリー」プロジェクトとは

背景

小金井市立公園には、市の歴史的な旧跡と重なる場所が多くある！
しかし、そのことはまだまだ知られていない・・・！



目的

「小金井市の歴史」を切り口とした市立公園の新たな魅力を引き出し、
市立公園の利用者を増やす

キーワードは
「妄想」！？



歴史教育コンテンツの魅力化のために必要なのは：「妄想力」！？

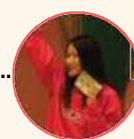


kiki前田

「歴史」といえば、言葉を暗記して楽しくないイメージ…
公園に説明文が載っていてもイマイチ面白さが分からない…

「ここでどんな会話をしていたんだろう」
「どんな植物が生えていたんだろう」
「ここで戦いが…最後はどんな気持ちだったんだろう」
妄想しだすと、何も無い公園でもワクワクしてくる

歴史が大好き
よく様々な遺跡を訪ねる



kiki阿部

歴史好きの**妄想世界を再現**することができたら、
興味が無い人にもその面白さが伝わるのではないかな

2年目概要

＜主な目的＞1年目に設置した看板の認知度向上に加え、市民が市内の歴史や遺跡に触れ、市立公園を訪れるきっかけを創出する

①市内15箇所の看板を巡るウォークラリー

- SNS等での情報発信
- ウォークラリー実施
- キックオフイベント（ブース展示・ワークショップ）
- ノベルティ制作

②市内小学校での出張授業の実施

- 小金井市立第四小学校（打診中）

スケジュール

＜SNS投稿について＞

- プロジェクトの趣旨
- ブログを小分け投稿
- キャラクター紹介
- ウォークラリー、イベント宣伝

＜ウォークラリーに向けた制作物＞

- A4チラシorパンフレット
- ウォークラリー用マップ
- ノベルティ

4～5月	環境政策課との打ち合わせ、SNSアカウント(X・Instagram)制作
6月	ノベルティ試作完成（漫画・シール）、ウォークラリー概要決定、制作物作成
7月	ノベルティ制作、ウォークラリー内容打ち合わせ
8月	ノベルティ制作、ウォークラリー準備、キックオフイベント詳細打ち合わせ
9月	ノベルティ完成、ウォークラリー準備、キックオフイベント準備
10月	キックオフイベント、ウォークラリー開始
11月	小金井市立第四小学校での出張授業、ウォークラリー
12月	ウォークラリー（遅くてもクリスマスごろまでで終了）
1月	報告書作成、提出

ウォークラリー

<目的>

小金井市民が市内公園を訪れる機会や市内の歴史や遺跡に触れる機会を創出する。

<概要>

市内公園15箇所に設置された看板を巡り、巡った箇所の数に応じてノベルティを貰うことができる。

<期間>

2026年10月3日（土）～2026年12月27日（日）

※グッズお渡し期間も上記に準ずる

<場所>

- ・市内公園15ヶ所
- ・きっかけ家（小金井市本町1-9-5 スカイラーク小金井B01

<参加方法>

- ①市内15ヶ所にある看板を訪れたことが分かる写真を撮影
（行ったことが明確に分かるようにご自身での自撮りや手持ちのぬいぐるみなどと撮影してください）
- ②3ヶ所以上集めたらノベルティを受け取れる（受け取り場所：きっかけ家）
- ③撮影した写真を公式アカウントのメンションをつけてSNSに投稿すると、ノベルティを+1つ貰える
- ④15ヶ所全て回ると、まだ非売品の公式漫画をプレゼント！

ウォークラリー ～制作物・広報～

<ウォークラリーチラシ>

- ・A4両面で作成（裏面はMAPでも良い？）
- ・市内の全小中学校への配布
- ・広報掲示板、まちおこし協会等への配架
- ・印刷費：約**8,000**円（3000部想定）
- ・デザイン費：**16,500**円（kiki内）
 - <https://raksul.com/print/flyer/prices?size=A4>

制作物・広報予算：290,750円

<MAP>

- ※デジタル・アナログどちらでも使用可能
- ・印刷費：約**4,000**円（500部想定）
- ・MAPデザイン費：**16,500**円
- ・制作費（構成・編集）：**16,500**円

他のウォークラリーを参考に
・看板近くのスポット（歴史、飲食）
・おすすめの周り方
などを掲載

◇制作スケジュール◇

- ・5月7日～
 - ノベルティデザイン開始（kiki田中）
 - 広報掲示板への掲示許可取り（kiki阿部）
 - チラシ、デジタルMAP仮案作成（kiki田中）
- ・5月下旬：すべてのデザインについてkiki内での確認
- ・6月1日～
 - 市確認、修正期間
 - 後援申請（必要であれば）
- ・6月末ノベルティ発注（シール、漫画）
- ・7月中
 - 現物確認
- ・8月中：チラシ発注、配布準備
- ・9月
 - ウォークラリー広報開始、チラシ配架

<ノベルティ>

シール

★貰える条件：公園を3ヶ所以上巡る



- ・印刷費：**12,550**円
- ・デザイン費：**16,500**円

- ・シールはプリントパックで制作予定
- ・300枚を想定
- ・ハーフカット数10を想定

https://www.printpac.co.jp/contents/lineup/sticker_multi/

漫画

★貰える条件：公園を全て（15ヶ所）巡る



- ・印刷費：約**55,000**円
- ・製作費：**66,000**円

- ・既にデータとして完成している漫画を製本
- ・カラーを想定
- ・50部を想定

印刷費算出の表：
試し刷り（1冊注文の場合）
1,797円（ラクスル）
2,037円（冊子製本キング）
予算：52,525円（ラクスル）
48,750円（冊子製本キング）

<広報（SNS）> WEBサイト、SNS管理・運用 9,900円×8ヶ月（5月～12月）=**79,200**円

ウォークラリーキックオフイベント

目的	「DOKI DOKI こがねい 妄想 ヒストリー」やウォークラリーイベントの認知度拡大・参加者増加につなげる。
概要	屋外でのブース展示・ミニワークショップの開催（縄文プレイヤーズさんと協働で実施を検討・打診中）
期日	2026年10月3日（土）・2026年10月4日（日） 10:00～17:00（ワークショップ11:00～16:00）
場所	小金井フェスティバルコート（イトーヨーカドー前武蔵小金井店前）

担当：縄文プレイヤーズ

ブース展示

担当：阿部（kiki）

公園で歴史発見！？DOKIDOKIウォークラリー

※仮タイトル

<実施内容>

- DOKI DOKI こがねい妄想ヒストリー（令和7年度協働事業提案制度採択事業）について
 - A1パネル2枚の展示
- プロローグ漫画の展示（横断幕）
- ウォークラリーチラシ&MAP配布
- スタッフによるおすすりルート案内
- ウォークラリー景品交換

<備考>

- 雨天の場合でも、ブース展示は縮小して実施



ミニワークショップ

担当：田中（kiki）

縄文体験！？オリジナルマスコットづくり

※仮タイトル

- 所要時間：20～30分程度

・実施形態

- 10/3（土）予約優先・雨天延期
- 10/4（日）予約不要（10/3が延期の場合、そちらに準ずる）

・定員

- 10/3（土）各回6名（①11:00～②11:30～③14:30～④15:00～⑤15:30～）合計30名
- 10/4（日）空き次第の案内（10/3が延期の場合、そちらに準ずる）



日光で固まる粘土でオリジナルマスコットやペンダントがつくれます！
※型は3Dプリンタで事前に増製予定（DOKIのキャラクターや縄文模様など）

座談会・縄文ブースの設営

小金井に縄文が出現！？ワクワクブース

※仮タイトル

<実施内容>

- 縄文竪穴住居風テントの設営
 - 幼児の遊び場としても使用可能
 - 縄文プレイヤーズの活動PR

・座談会（10/3のみ実施）

- 小金井において多く出土している縄文時代の遺跡について、縄文好きが集まり、テーマに沿ってゆるく語り合う時間
- 場合によってはゲストを呼ぶ
- 動画に収めて後ほどSNS等で拡散

<備考>

- 雨天の場合、10/4に延期



縄文プレイヤーズの皆さん



ウォークラリーキックオフイベント ～内容・スケジュール～

<広報・準備>

- 6月中：ウォークラリーチラシ、MAP作成
- 8月：10/3ワークショップ申し込み用URL作成、制作物作成
- 9月下旬：イベント広報開始

<当日>

- 1日目：パネル展示・ミニワークショップ（完全予約制・各回6名）・座談会 ※ミニワークショップ・座談会は雨天の場合翌日に順延

8:00～設営開始・準備

10:00～ イベント開始（パネル・ブース展示、チラシ配布）

11:00～ ワークショップ1巡目

11:30～ ワークショップ2巡目

12:00～ 休憩（展示のみ）

13:00～ 縄文座談会（ゲスト：縄文プレイヤーズ）

14:30～ ワークショップ3巡目

15:00～ ワークショップ4巡目

15:30～ ワークショップ5巡目

16:00～ ワークショップ片付け

17:00 イベント終了・撤収

- 2日目：パネル展示・ミニワークショップ（予約不要、先着50名）

※10/3が雨天の場合は進行を10/3の通りにし、予約した方を対象に実施。空きが出たところに当日参加者をいれる

9:30～設営開始・準備

10:00～ イベント開始（パネル・ブース展示、チラシ配布）、ワークショップ開始

※ワークショップは30分程度で終わるため、並んでしまった場合も席が空き次第のご案内とする。

17:00 イベント終了・撤収

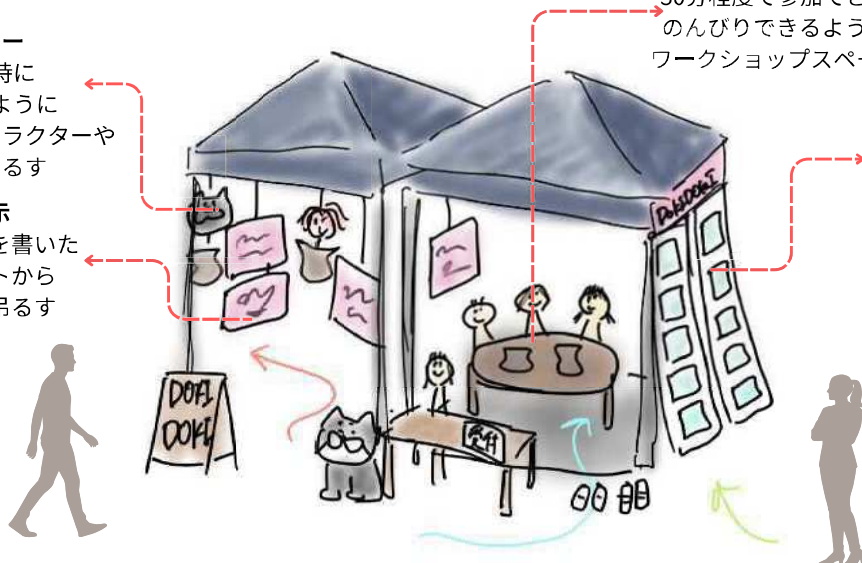
ウォークラリーキックオフイベント ～ブースイメージ～

キャラクター
外から見た時に
賑やかになるように
漫画に登場するキャラクターや
土器などを吊るす

パネル展示
企画の趣旨などを書いた
パネルをテントから
動線を作って吊るす

ワークショップブース
ちゃぶ台などを準備して
30分程度で参加できて
のんびりできるような
ワークショップスペース

プロローグ漫画
タペストリーなどに
縦長に印刷して
テントの上から垂らす



イラスト：田中萌

ウォークラリーキックオフイベント ～備品・費用～

<必要な備品・費用について>

合計：221,600円

- 横断幕
 - 1枚約7,000円（税込）×5枚を想定=**35,000円**
 - デザイン費 **16,500円**（kiki内）
- パネル
 - 1枚約6,000円（税込）×2枚を想定=**12,000円**
 - デザイン費 **16,500円**（kiki内）
- 立看板 1台約**8,000円**（税込）
- ワークショップ材料費 一人当たり200円×80名=**16,000円**
- ワークショップ用ローテーブル：1台8,000円×2台=**16,000円**
- ワークショップ用タープテントレンタル：**6,600円**（3日間レンタル可能）
- 消耗品等雑費 **3,000円**

太陽光で固まる粘土を使用した
ワークショップを企画中

- 人件費（協力謝金として） 1名あたり11,000円×2名×2日を想定=**44,000円**
 - 9:30～16:30（実働6時間、休憩1時間）
- 人件費（運営）1名あたり12,000円×2名×2日を想定=**48,000円**
 - 9:00～18:00（実働8時間、休憩1時間）

協力：縄文プレイヤーズ

<参考：ワークショップ参加費収入> 材料費と相殺

- 1人200円×80人=16,000円

• タープテント2台→市の方で確認中・予算にはレンタル代を計上

• 受付用長机（屋外用）2台→市の方で貸出可能

• ワークショップ用ローテーブル2～3台→市の方で確認中・予算には2台購入分を計上

小学校での授業の実施

目的

協働事業で設置した看板の内容を取り入れた授業を小学校で実施することで、まだ歴史に興味関心が出ていない、あまり触れていない児童の層にもアプローチし、小金井市の歴史に触れてもらう機会を創出する。また、看板の存在を児童に周知することで、個々の探究の拡大につなげる。

- 開催予定小学校：小金井市立第四小学校（授業は教室と三楽公園で実施。雨天の場合は視聴覚室）
- 対象：小学6年生（クラスごとに実施）
- 時間：2コマ×3クラス（①8:45～10:20 ②10:45～12:20 ③13:40～15:15）
- 人員：進行・ファシリテーター1名（kiki）、ゲスト講師1～2名（縄文プレイヤーズ）、カメラマン（kiki）、小金井市環境政策課

大まかな内容

- 導入（小金井市の歴史について）※教室で実施
 - 1学期に学習した縄文時代の復習、小金井市の歴史についてどのくらい知っている？（問題提起）
- 縄文人になりきって、縄文人の生活を妄想してみよう！
 - テーマ① どんな所に家を建てたい？
 - 縄文時代、まさにここに人が住んでいたことや小金井市の当時の様子を伝え、なぜここに家を建てたのか？一緒に考えてみる
 - テーマ② 土器の模様の意味って？
 - 4小付近で出土した土器を実際に見て、そこにあった想いや模様の付け方、何に使われていたのかを妄想する
 - 最後にちょっと学術的に解説
- 振り返り、まとめ（看板やウォークラリーの宣伝）

小学校での授業の実施 ～予算～

合計：45,000円

準備・打ち合わせ

- 学校との打ち合わせ等
 - 1,500円×2h×1人＝3,000円
- 授業作成準備
 - 1,500円×6h×1人＝9,000円

当日

- 小学校での授業当日
 - 11,000円×3名（kiki1名、ゲスト講師2名）＝33,000円

全体収支予算について

収入

- 市への補助要望額：500,000円（満額）
- イベント参加費収入（材料代として）：16,000円
- 自己負担額：41,350円 ※収支の差額を自己負担とする。タープテントとローテーブルを含む。

合計：557,350円

支出

- ウォークラリー制作物・広報：290,750円
- キックオフイベント実施：221,600円
- 小金井市立第四小学校での授業実施：45,000円

合計：557,350円